

2026年度
第24回高大連携
教育フォーラム

探究的な学びは 大学教育へ どうつながるのか

～選抜を含めた高大接続の可能性～

2026年12月5日(土) 13:00～18:00(受付12:30～) キャンパスプラザ京都

申込期間 10.6[火] 10:00～11.26[木] 17:00

参加費 京都府内の高等学校・大学関係者=1,000円 左記以外の方=2,000円 ※「レジュメ・資料集」を含みます。【参加費支払期限:12月1日(火)】

1 基調講演

13:15～14:15

2040年の社会・地域・ デモクラシーと公教育

登壇者

合田 哲雄氏(文部科学省 高等教育局長)

2 事例紹介

14:20～15:50

高校・大学の現場から具
体的な事例を紹介し、高大
接続の「今」に迫ります。

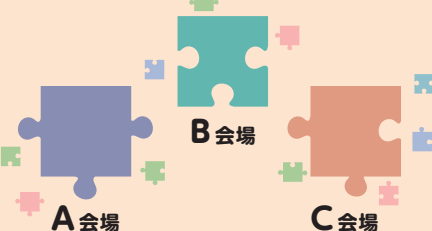
報告者 ※学校名の五十音順

伊吹 侑希子氏(京都先端科学大学附属中学校高等学校)C
楠見 孝氏(京都大学 国際高等教育院 副教育院長・特定教授)A
井出 大地氏(京都文教大学 高大連携オフィス 課長)B
野々口 勇人氏(京都文教大学 アドミッションオフィス 係長)B
島崎 道朗氏(京都府立鳥羽高等学校 企画推進部)A
栗村 隆太郎氏(京都市立日吉ヶ丘高等学校 進路指導部 教諭)B
倉田 良樹氏(福知山公立大学 副学長)C
(高大連携担当)

3 意見交換

16:00～17:15

3つの会場に分かれて、高
校・大学双方の視点から探
究的な学びと高大接続の在
り方について議論を深めて
いただきます。



4 全体共有

17:30～18:00

意見交換で取りまとめた内
容を全体で共有します。

進行:細尾 萌子氏

(大学コンソーシアム京都高大連携推進室員/立命館大学 文学部 准教授)

急激な少子化と人口減少時代が進むなか、高等学校、大学とも
に18歳人口が74万人となる2040年を見据えた大規模かつ急速
な制度改革が強く求められている。中央教育審議会では、次期学
習指導要領の策定が進行しており、今年度内の答申が予定され
ている。

現行学習指導要領のもと、高校では「総合的な探究の時間」を
含めた探究的な学びが広がっている。しかし、その学びが大学教
育や実社会へどのようにつながるのかについては、依然として十
分に明らかになっていない。探究に取り組んだ高校生が大学に
進学した2025年度の大学入学者選抜では、総合型・学校推薦
型選抜を実施する大学・学部が9割を超え、入学者も5割超となっ
た。多面的・総合的な選抜が進む一方で、「探究評価型」等を掲
げた選抜を実施する大学も増えるものの、探究活動が入試対策
に矮小化される懸念や、大学での学びやキャリア形成につながっ
ているのかという疑問も指摘されている。

今回のフォーラムでは、高校での探究的な学びが大学教育へと
どのように接続しているのか、高大双方の視点から現状を共有し、
理解を深めることを目的に開催する。具体的には、国の政策動向
を踏まえつつ、探究的な学びを契機とした進路選択の変化や多
面的・総合的な選抜がもたらす学びの変容など、具体的事例をも
とに高大接続の実態を検討する。また、参加者同士の意見交換
を通じて、教育接続の新たな可能性をともに探究する場としたい。

開会挨拶:小原 克博氏(京都高大連携研究協議会 会長/大学コンソーシアム京都 理事長/同志社大学 学長)

趣旨説明:長谷川 豊氏(大学コンソーシアム京都 高大連携推進室長/京都府立大学社会科学部 准教授)

総司会:山本 以和子氏(大学コンソーシアム京都高大連携推進室員/京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授)

1

基調講演 [13:15~14:15]

2040年の社会・地域・
デモクラシーと公教育

登壇者 合田 哲雄氏(文部科学省 高等教育局長)

生成AIの飛躍的進化などによる社会や産業の構造的な変化を見通し、高校段階での理数教育や工業・農業などの専門高校の重視、大学の理工・デジタル分野の拡充、人文・社会科学系学部のダウンサイジングによるST比の向上や数理併修を通じた質の向上、高専の質量両面にわたる充実などの政策が進められている。「とりあえず普通科」、「女子は文系」、「早めに理数科目を捨てて3科目の偏差値を上げて首都圏・大都市圏の大規模大学に進学すれば生涯安泰」といった保護者や社会の根深い認識の転換の観点から、高校における探究的な学びや高大接続のあり方等について考えてみたい。

2

事例紹介 [14:20~15:50] ※学校名の五十音順にて掲載

1

授業とプロジェクトを繋ぐ探究活動の実践
～高大・社会連携がもたらす学びの深化～

報告者 伊吹 侑希子氏(京都先端科学大学附属中学校高等学校 未来教育創造部 司書教諭)

中高コース別の探究授業の基盤と、SDGs飯プロジェクトによる社会実装の実践を紹介。地域・企業・大学等と連携した探究活動が、生徒の問いを深め、大学での学びや高大接続へ果たす役割と可能性を検討する。

2

探究的な学びを大学につなぐ
——京都大学の特色入試と統合型複合科目

報告者 楠見 孝氏(京都大学 国際高等教育院 副教育院長・特定教授)

京都大学教育学部の特色入試(総合型選抜)における、パフォーマンス評価による探究的な学びの評価と、高校での探究を大学の学問・研究につなげる講義と演習からなる初年次授業「統合型複合科目」について紹介する。

3

高大連携から始まる学びをつなぐ高大接続
～育成と学びの接続を重視した取組～

報告者 井出 大地氏(京都文教大学 高大連携オフィス 課長) 野々口 勇人氏(京都文教大学 アドミッションオフィス 係長)

高校での探究的な学びを支える高大連携から、総合型選抜、入学前教育までを一体的に展開する京都文教大学の取り組みを紹介します。「入試」を高校生の学びや成長を知る機会と捉え、大学教育への接続を重視した実践を報告します。

4

イノベーション探究を核とした
人材育成における高大接続の価値

報告者 島崎 道朗氏(京都府立鳥羽高等学校 企画推進部 教諭・グローバル科学科長)

鳥羽高校グローバル科ではグローバル人材の育成をめざし、高大連携を中心とした「イノベーション探究」で、挑戦と協働をテーマに生徒の成長を促している。その成果と課題について報告する。

5

「キャリア教育」をめぐる進路部と企画部の
役割の模索 一日吉ヶ丘高校を事例にー

報告者 栗村 隆太郎氏(京都市立日吉ヶ丘高等学校 進路指導部 教諭)

企画部が担う「総合的な探究の時間」と、進路選択の関わりについて、具体的な事例を紹介する。また、生徒全体に効果を波及させるにはどうすればよいという問題提起を両部署の役割分担の現状から提示したい。

6

高校の探究学習を大学の地域協働型教育に
どう接続していくか：地方公立大学の経験から

報告者 倉田 良樹氏(福知山公立大学 副学長(高大連携担当))

地方公立大学の「地域政策」、「地域経営」系の学部は、地域課題の発見や解決を志向する教育を行っている。高校の探究学習を発展させる高大接続を目指してきたが、そこには多くの課題も残されている。

3

意見交換 [16:00~17:15]

A

会場

報告者 楠見 孝氏(京都大学 国際高等教育院 副教育院長・特定教授) 島崎 道朗氏(京都府立鳥羽高等学校 企画推進部 教諭・グローバル科学科長)
／コーディネーター 白石 耕二氏(京都府教育庁 指導部 高校教育課 指導主事)

B

会場

報告者 井出 大地氏(京都文教大学 高大連携オフィス 課長) 野々口 勇人氏(京都文教大学 アドミッションオフィス 係長) 栗村 隆太郎氏(京都市立日吉ヶ丘高等学校 進路指導部 教諭)
／コーディネーター 紀平 武宏氏(京都市教育委員会 指導部 学校指導課 高校教育担当 指導主事)

C

会場

報告者 倉田 良樹氏(福知山公立大学 副学長(高大連携担当)) 伊吹 侑希子氏(京都先端科学大学附属中学校高等学校 未来教育創造部 司書教諭)
／コーディネーター 山田 尊文氏(京都先端科学大学附属中学校高等学校 副校長)

申込
方法

[https://www.consortium.or.jp/
project/kodai/education-forum](https://www.consortium.or.jp/project/kodai/education-forum)



高大連携教育フォーラム

申込
期間

10.6[火] 10:00~11.26[木] 17:00

手順

- ①WEBからのお申込(先着順) ②申込完了メールの受信
- ③参加費のお支払い ④「参加に関するお知らせ」メールの受信
- ⑤「レジュメ・資料集」(PDFデータ)の事前受領 ⑥来場参加

注記

- ①申込手続き完了後の意見交換会場の変更はできませんのでご注意ください。
- ②「メールアドレス確認フォーム」を入力・送信後、「参加申込フォーム」URLの通知メールが届かない場合、誤入力等の可能性がございます。お手数ですが再入力・再送信してください。
- ③申込手続き完了後、「申込完了メール」が届かない場合は、大学コンソーシアム京都までお問い合わせください。
- ④今年度より「レジュメ・資料集」の紙配付を廃止し、PDFデータでの事前配付に変更いたしました。
- ⑤参加費のお支払い方法については、WEBサイト等をご確認のうえ、右記期限までにお支払いください。参加費支払期限：2026年12月1日(火)
- ⑥お支払いいただいた参加費は、開催中止の場合を除いて、いかなる理由があっても返金には応じられません。予めご了承ください。
- ⑦受信したメールを申込者以外の他者へ転送・転載することは固くお断りします。
- ⑧申込方法の詳細や注意事項は、WEBサイトにてご確認ください。
- ⑨参加中の録画・録音・撮影は固くお断りいたします。

お問い合わせ先 [火～土 9:00～17:00]

公益財団法人大学コンソーシアム京都 教育開発事業部

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ルキャンパスプラザ京都(月曜休館)

TEL 075-353-9153(直) TEL 075-353-9100(代) FAX 075-353-9101 URL <https://www.consortium.or.jp>

主催：京都高大連携研究協議会(京都府教育委員会／京都市教育委員会／京都府私立中学高等学校連合会／京都商工会議所／公益財団法人大学コンソーシアム京都)

